

こんにちは、皆さん
エンドウです。

今回は、ここ10日ほどで起きている
YouTubeの「未収益化」現象について
急遽メールを書いています。

実は、ここ数日で
YouTubeに投稿されているかなりの数の動画が
収益化を外されたという事態が起きています。

YouTubeのページで言えば
動画一覧に表示されている
収益化の緑色のマークが
黄色のマークに変化しており、
「一部の広告主に適していない」
「ほとんどの広告主に適していない」
等のメッセージが表示される状況になっています。

収益化を外されるのは
10日前だったり3日前だったり
まちまちですが、
これはおそらく動画の投稿されている
サーバーの違いだと思いますので
未収益化にされた日時がずれていても
特にそれによる変化はありません。

/

☆

未収益化の現状と原因

この「未収益化現象」の原因は
YouTubeの収益化チェックプログラムの変更です。

動画の収益に関するプログラム、
システムの変更ということで

動画のタイトル、説明欄、タグはもちろんサムネイルも未収益化される原因になっています。

私のコンサル生の中にも動画が未収益化の状態になってしまった方が多くおられましたが、サムネイルを変更したら収益化を外されたというケースも起こりました。

ですので、今回の新しいプログラムはサムネイルもチェックされていると考えています。

逆に、タイトルの中の文字を変更することで収益化が復活された事象もあります。

加えて、投稿した動画を公開する前、予約投稿の状態でも未収益化になる事も確認が出来ています。

つまり、公開していなくてもYouTubeのサーバーに動画のデータがアップされた時点でYouTube側がチェックしているという本格的にチェックを行う意思を強く感じます。

一方で、チャンネル登録者が8,000人を超えて1年以上長くチャンネルを運営されている方にはこの未収益化はあまり起こっていないようです。

ただし、たとえ1万人以上のチャンネル登録者がいたとしてもそれをトレンド系動画で一気に集めたような場合は未収益化が発生しているケースも見られました。

/

☆

未収益化の傾向と分析

未収益化される動画の傾向は
かなり明らかになっています。

まず、戦争・紛争系やアダルト系のものは
引っかかっています。

もちろん北朝鮮やISなどの動画も
当然この中に入っていますね。

暴力、いじめ、犯罪に関する動画、
グロ系の動画等も
収益化を外されています。

加えて、国際的な問題が
起こっていることを受けてか、
政治や思想系の動画も
かなり注意した方がいいと思います。

特定の国や人種などを
さげすむような言葉も
チェックされているようです。

そして、新しいジャンルとしては
「修羅場系」と言われている
男女や嫁姑、夫婦の揉め事
に関する動画も収益化を外されている
ケースがあります。

この

- 1)戦争・紛争
- 2)アダルト
- 3)暴力・いじめ・犯罪
- 4)グロ

5)政治・思想

6)修羅場

の動画を投稿している方は
気をつけて下さい。

ただ、YouTube側も
プログラムの微調整を行っているようで、
コンサル生の中には
「一度未収益化になった動画が
数日後には大部分が戻った」という
方もおられました。

ですので、未収益化の状態となっても
焦らずに冷静になって対応して頂きたいです。

/

☆

未収益化現象の背景とは？

このようなことが起きた背景ですが、

YouTubeアドセンスは
広告費が高騰する時期が
1 2月と3月にあります。

3月は決算期で広告を出す企業が多いこと、
1 2月はクリスマスと年末年始商戦のために
広告を出す企業がとて多いことが理由で
広告費が上がるのです。

ですので、その前に
広告主に嫌がられる動画を
減らしておきたいということが
理由だと思われます。

YouTubeは広告収入を柱としており、
私達もその広告収入の一部を
アドセンスという形で得ています。

しかしその中で広告を出したくない、
すなわち自社のイメージが低下するような動画は
当然ながら広告主は嫌がるわけですね。

YouTubeにとっても
企業がYouTubeから離れていってしまうことは
企業存続に関わる問題です。

実際、今年は
広告主が掲載動画のジャンルや特徴を
細かく選べるように
YouTubeがシステムを変更しました。

ただ、そこまで手間や時間を
掛けられない場合も多いので
YouTube側でも不適切だと思われる動画を
排除しているということになります。

これは、去年の11月に起きた
YouTubeアカウントの大量削除
通称「削除祭り」と
同様のアクションではないかと思っています。

しかし、去年の削除は何の前触れもなく
いきなりアカウントを削除されました。

今回は削除ではなく収益化を外されただけですので、
言うなれば一度YouTubeからの意思表示を
受けているわけです。

実際にどう判断するかは
個人におまかせしますが、
私はそうではないかと思います。

そう考えると、
私達YouTubeアドセンスで稼いでいるものは
今後もこのような動画の規制は
厳しくなることはあっても
ゆるくなることはないと考えて
対応していくべきでしょう。

/／

☆

私達ができることは？

ではこれを踏まえて、
私達ができる対策について
お話していきましょう。

まず、動画が未収益化の状態になっても
1週間ほどはそのまま放っておいて下さい。

上で書きましたが
YouTube側も調整中ですので、
「ちょっとチェックロジックを厳しくしすぎた」
という場合は後から元に戻る確率も高いです。

ただ、もちろん
ちゃんとした動画を投稿しているという
条件はありますので、

しばらく待っても戻らない場合は
動画の内容をチェックして下さい。

チェックしても先程の6カテゴリに
当てはまらないということであれば、
YouTubeに申請しましょう。

当然、当てはまらないものだけですので
危険な動画を申請しないようにして下さいね。

ちなみに、この申請は
現在1,000回以上の動画のみ受け付けると
言われていますが、

実は私のコンサル生でも
1,000回未満で申請して
受け付けてもらえた方がいます。

ですので、
再生回数に関わらず
一応申請してみてください。

申請後は3日ほど待ってみて
それでも変わらない動画、
もしくは申請をしなかった動画は
キーワードとサムネイルを変更して下さい。

どういうことかという、
YouTubeのプログラムは当然ながら
キーワードや動画説明欄、タグから
どんな動画かを判断しています。

ですので、そこに
6カテゴリを意識させるような言葉が
入っていないかを確認するのです。

特に注意いただきたいエリアは
動画説明欄に記載している
関連動画に関する記載です。

「関連した動画」「おすすめ動画」などの部分に
6カテゴリのキーワードを含んでいる動画が
ある可能性がありますので、
注意してみてください。

もう1つは説明文などのキーワードですね。

6カテゴリの内容を想起させるような、
ネガティブな言葉はもちろん
「少しマイナスイメージがつく」位の感覚でも
当てはまってしまう場合があります。

気になる部分は変更や修正を加えて下さい。

サムネイルに関しても
YouTubeの親会社であるGoogleは
“画像検索”システムを保有していますから
当然「この画像はどんな画像か」くらい
ある程度は瞬時に判断しているはずです。

ですので、文章には入っていないからOKだと思っても
サムネイルの画像によって
収益化が外されている可能性もありますので、
注意して下さい。

/

☆

それでも変化がなかったら

修正&更新後3～5日待っても
収益化されていない場合は
最終判断となります。

そのまま放っておくか
削除してしまうかになると思いますが、
私は削除する事が
適正な判断だと思っています。

なぜなら、
去年の“11月の削除祭り”のようなことが

もし今年もYouTubeが対処するなら
今回の未収益化はやはり
警告の意味で行われたというふうに
捉えられると思っているからです。

例えばの話ですが、
未収益化を受けた動画を残していると
アカウント削除になる等の可能性は高まる
等を考えています。

私としては

- ・長く稼いで頂くためのリスク管理、

そして

- ・ YouTubeとともに
視聴者さんに良い動画を提供していくという

スタンスが基本だと思いますので、
注意すべきと判断された動画は
削除した方がいいと考えます。

私はコンサル生等には削除するように
案内していますが、
最終的には皆さんご自身で
判断して下さい。

以上がこの10日間位で発生しました
動画の「未収益化」に関する
原因やその背景、対応方法になります。

このメルマガが皆さんの
お役に立てば幸いです。

それでは、ここまでお読み頂き
ありがとうございました。